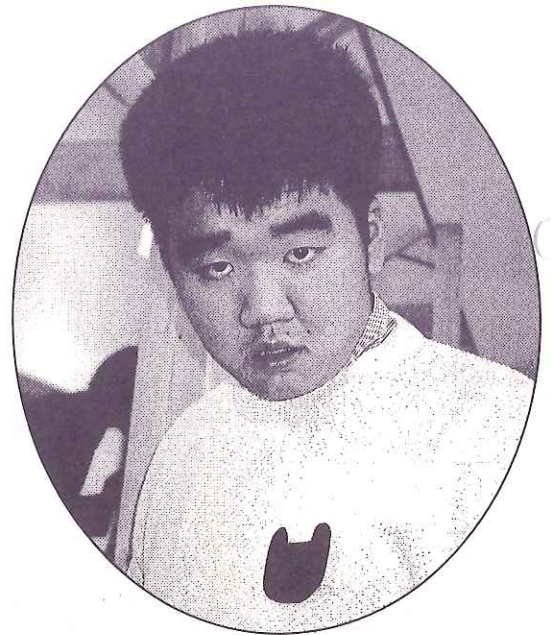
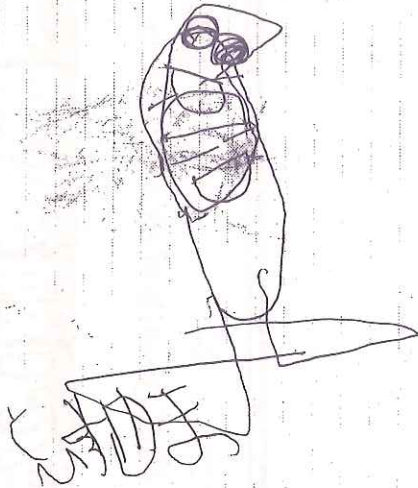


# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会  
 責任者：藤田勝春  
 編集責任者：田澤幸子  
 編集：こぶし作業所  
 (〒321-0902)  
 宇都宮市柳田町1401番地



セルプ・みらい  
 富山浩司さん

もくじ

- ①特集 講演会「どう変わりますか?」  
 支援費制度になってからの施設利用」…2・3ページ
- ②仲間……………4・5・6ページ
- ③トピックス……………7・8・9ページ
- ④掲示板……………10ページ

社会福祉法人  
 こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp.
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
 E-mail t.keyaki@ba.wakwak.com.
- デイサービスセンター
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
 E-mail selp-mirai@ar.wakwak.com.
- 第2 けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325  
 E-mail dai2keyaki@ba.wakwak.com.
- グループホーム ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
 こぶしのときわ荘  
 TEL 028 (662) 5533
- グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 すずらんの家  
 TEL 028 (677) 4430





講師の明星 晃氏です

## 講演会

# 「どう変わりますか？」

# 支援費制度になつてからの施設利用

二月二〇日宇都宮市平石地区センターで、こぶしの会利用者の家族を対象に講演会が開かれました。こぶし、けやき、みらいから三〇名が参加してくださいました。

講演会は、支援費制度実施に向け、

自治体による聞き取り調査がほぼ終

了し、申請手続きが進められている

時期になり、今後サービスを利用す

るものとサービスを提供する側の関

係はどのように変わっていくのか、

変わらないのか、支援費制度の中身

を確認しつつ考える機会として開催

されました。講演をお引き受けくだ

さつた明星晃氏は、第三者評価を中

心に活動する「NPO法人メイアイ

ヘルプユー」理事であり、元東京都

福祉局心身障害者福祉センター知的

障害者相談課係長として、また、重

度障害者の施設職員として長年障害

者やご家族の相談に当たってこられ

た方です。以下、講演の概要をご紹介

いたします。実際にかかわってこ

られた事例をたくさんお話していた

いただきましたが、紙面の関係でかなり

割愛させていただきました。

「知的障害者の方のお付き合い

が大変長いわけですが、最近の新し

い事情に精通しているかというところ

ではございません。今度の支援費

制度も細かなところまで理解するの

は大変なことだという感想を持って

います。今日は、改めて皆さんと一

緒にこの支援費制度の一番大事な部

分について考えて行きたいと思いま

す。戦後の大変な時期に、日本の福

祉制度ができ、その制度が約五〇年、

措置費制度という形で進められてき

ました。それが今回初めて大きな変

化として支援費制度になるのだとい

われております。支援費制度はパン

フレットにもありますように、ノー

マライゼーションの実現です。これ

は、デンマークの知的障害の親の会

の人たちが、戦後進めてきたひとつ

の考え方です。どんなに障害を持つ

ていようとそれが重かろうと一人の

人間として生きてきた以上、自分の

人生を歩んでいくのは当たり前なの

だということですね。それを実現し

ようと一九五〇年代に出てきた考え

方ですけれども、我が国では、一九

八一年の国際障害者年を契機として

強く言われてきたものです。私たち



① 特集

が今話題にしている言葉、グループホームとかショートステイとかホームヘルプサービスとかカタカナ語が多くて厄介なんですけれども、実はそれらはすべて考え方や実践の内容が外国から入ってきたという事情があるんですね。でも、もう私たちも大変長い実績を持ってます。皆さんの法人も二〇年を超えていてベテランばかりというわけですから、そろそろ自分たちの自前の知的障害の方の生活を自分たちでどういう風に乗って行ったらいいのかわかる時代になってきていると思えます。この支援費制度の根底のこの考え方をぜひとも自分たちのものにしていかなければならないと思えます。本人があくまで自分の人生をどう生きていくかという主体者でそれを周りのみんなまで支えていくんだということ。これまでは本人と家族保護者の関係は整理されていませんでした。保護者とご本人とが一体だ

ったところがありますけれども、今はあくまでも本人が中心に生きていくんだということになったわけですよ。

障害のある人たちが、ホームヘルプサービス、ショートステイ、グループホームなど、これらは、家族支援という面もありますが、自分にあつたサービスを選んで利用する。そしてこれらを使って自分の暮らしている地域で、生活していくそういうことを実現していきましょう。そして、こういうサービスをどこまで作っていくか、誰にやってもらおうかと考えた時、これまで長い間地域での実践の実績のある通所施設というのが大きな力になるだろうと思っております。日常的に日々のご本人の様子が変わる立場にあるのは、家族の方を除いては通所の施設が非常に身近にあるのではないかと思います。改まった事業を考えるまでもなく、家族からの相談に乗ったり、意



真剣に学習しています

見を交換したり、情報交換したりしている。このことが地域のニーズを把握し、何が必要かを発信していく発信基地として施設の力を活用することは悪いことではないと思えます。改めて、今度の制度は、ご本人にかかわる家族の方も、行政の人も、そして施設や事業者も地域住民の人たちもそれぞれの立場から、何ができるか何をしなければいけないか、お互いの立場をはっきりさせながらそして力を合わせてやっていると、はどの辺かということを見極めて、

そういう関係を作っていくかなければならないかなと思います。実はこの四月からスタートしますけれども国が言っているあるいはこの制度自体が目指している内容を実現するには、実態調査で明らかになつたように、まだまだ実際にはサービスが足りないんですね。これから理念を実現するには実態がない状態、選ぶんだといわれても選ぶほどのサービスがないという状態を作り変えていくためには、通所施設を中心とした現場から発信していく動きが必要ではないかと私は考えております。」





# 成人おめでとう!



セルブ・みらいでは、今年成人を迎える仲間の「成人を祝う会」を、1月10日（金）に行いました。主役の笹沼稔男さん（写真右）、横山惟久さん（写真左）は、スーツに身を包み、お二人のお母様も参加され、楽しい中にも感動的な会を持つことができました。その中で、お母様から成人を迎える息子へ送る言葉ということで、お手紙を読み上げていただきました。そのお手紙を紹介したいと思います。

## 二〇才になった稔男へ

あつという間の二〇年、いろいろあった二〇年でもあったね。昭和五七年九月四日、午後〇時五分、三、〇二〇gで我が家の長男として生まれたあなたは、お腹からなかなか出られなく、お母さんは血圧が下がり、酸素を送られ、鉗子で何度も何度も引っ張られて、やっと生まれたんだよ。頑張ってるんだんだけど、体は青黒く、しばらく泣き声を上げてくれなかったんだよ。

男の子誕生に親戚、家族が、喜んでのもつかのまで、生後五、六時間でけいれん発作が出て、一二時間後には独協医大に移り、返ってきた返事は「命の保障なし」という言葉。もう、ショックで悲しくて、産院のトイレにこもって涙してたんだよ。他のお母さん方が、ミルクやおっぱいをあげている姿も、赤ちゃんの泣き声も聞き

たくなかったんだ。おっぱいが張っても、飲んでくれる赤ちゃんがいないってとつてもつらいんだよ。

お母さんが退院して、独協医大に行くと、主治医から「脳性小児マヒとてんかん」の病名を告げられ、頭をとんかちで殴られたように声も出なかったよ。そして、「目も見えない、耳も聞こえなく、大きくなくても逆エビ状態の体で寝っぱなし、施設入りだね。」とまで言われたんだよ。面会に行くたびにいい話がなくて、帰りの運転が涙でできなくてお父さんに運転を頼み、会社を早退することが続いたんだよ。

どうして、うちの子だけが病気になるの、他の赤ちゃんもみんな病気になればいいのに不公平だと思ってたんだ。でも、ある日、お父さんに「おれら夫婦なら育てられる、とつてうちに稔男をくれたんだよ。」と言われ、「そうか、



② 仲間

選ばれた親なんだ。」と、心を切り替えることができたんだよ。

五、六年間、入退院の繰り返し四〇回位したよね。痛くて苦しいのを、あなたは小さな体で頑張ったんだよね。夜中に、発作が治まらないと独協へ行き、朝、帰ってくるのが何度かあったね。お父さんは一睡もしないで、そのまま会社に出勤するんだよ。お父さんも辛かったと思うよ。三才違いのお姉ちゃんは、ひとり置いていけないので、冬は毛布にくるみ車の中で寝かせて、少し大きくなってからはそばについてくれたんだよ。

音に敏感なあなたは、畳の上を歩く足音でさえも発作が出るので、座布団を敷き詰め、ドアの開け閉めの空気の流れでも発作、泣いても発作の出る子でした。今思うと大変だったんだよね。

養護学校の在学中は、三度も足

の手術を受け、痛く歩けないくらい思いもしたけど、今はしつかり歩けるようになったね。このまま頑張つて歩き続けてください。

最後に、あなたが生まれたことで、お母さんたくさんのお友達ができたよ。冷たい心の持ち主だったのに、少しは思いやりやさしさが出てきたような気がします。ありがとうね。そして、成人したのだから、一つでも自分でできることを増やして、お友達と仲良く元気で仕事にも頑張つて下さい。

稔男の成長に乾杯！

—母より—

惟ちゃんへ

惟ちゃん、あなたが生まれた時、まゆがはつきりしていて「男の子だ」と思いました。

赤ちゃんの時は、眠らないで泣いてばかりいましたね。

歩き始めたなら、動きっぱなしで

したね。迷子で、初めて警察に非常線を張るほどの大出動をしてもらったのもその頃ですね。

自転車に乗るようになった幼稚園の頃、毎日、暗くなるまででかけていましたね。遠くから小さな自転車のライトが見えるまで、毎日、ハラハラしていたのですよ。

ジグソーパズルが得意で、部屋がいっぱいになるほど作ったり、虫が好きで、春には蛙、夏にはちようやとんぼをとり、秋にはバッタをつかまえていました。

動物も好きで、牛・馬・うさぎ・犬・猫にさわったり、えさをやったりもよくしましたね。とても楽しそうでした。

小学校の頃には、天ぷらにしてとよもぎやつくしをポケットいっぱいにして、帰ってきましたね。

中学の時の修学旅行のディズニールランド、高校の時の飛行機で行った長崎のハウステンボス、友達

と一緒にとても楽しかったですね。でも、家では、テレビや食器をいっぱい壊したり、ふらっと一人で大宮や東京へ行ったりして、とても心配しました。

その頃の惟ちゃんのアイドルは、天気予報士とNHKのアナウンサーでしたね。

ジグソーは、全然しなくなったけれど、小さい頃から好きだったプラレールは、今も続いていますね。そして、ビデオとCD、缶コーヒーが好きですね。

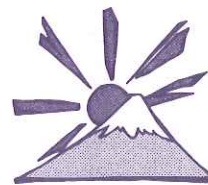
これから、どう変わっていくのでしょうか。いつまでも続けられる趣味が見つかるといいですね。そして、お仕事毎日頑張れる人、約束を守る人、他の人への思いやりを持てる人になって欲しいですね。

惟ちゃん、成人おめでとう。

—ママより—



# 新年会 開催について



けやき作業所自治会では平成一五年一月六日に友遊はがレストラン「マンマ」にて、日頃お世話になっている関係者を含め総勢五七名で開催されました。職員の手をあまり借りずに、利用者主体での企画、開催となりました。自治会の中心となって話をすすめた直井信也会長にお話をお聞きしました。

**職員** 新年会を企画してみても、一番難しかったことは何ですか？

**直井会長**

やっぱり、企画書、実施要綱を書いたことかな。今までは職員が書いてくれたし、初めて自治会役員だけで書いたので難しかった。

(注)今回は企画書作成は佐々木由美副会長が、実施要綱作成は那花靖夫会計が作りました。

お金に関しては今回、職員がやったけど、役員たちだけでも貯金を下ろしたりできると思う。役員の手計は今まで名前だけで意味がなかった。何の役にも立っていない。

**職員** 職員が入らなくて困ったことはないですか？

**直井会長**

決められた時間の中で、職員のアドバイスや誘導なしでは、良い会議は開けないと思うし、役員だけでは時間がかかりすぎる。それと、外部の人との電話や連絡を取る場合に職員がいないと正確な情報を伝えることはむずかしい。

**職員**

新年会を開催して自治会が変わったこと、感じたことは何ですか？

**直井会長**

予約をしたお店の方と作業所の仲間についての話をし、カロリー制限のある人に対して、

**職員**

低カロリーの料理を用意してくれた。もっと、役員だけじゃなく、他の人もいろんな人と交流したほうが良いと思う。そうすれば、けやき作業所をもっと知ってもらえると思う。どうすれば、もっと自治会が良くなると思いますか。

**直井会長**

もう少し、会議の中でいろんな話をしなくてはならないと思う。仲間だけで会議をするの

なら、会議の回数を今より増やさなければいけない。それと、役員の意志を高めるためにも、勉強会をしようと思います。

今回の新年会を通じて、インタビューの発言でも見られるように、本人らで話し合い、企画実施する中で、地域交流の大切さ、もっと自分たちで出来ること、自分たちの苦手なことを把握することのできた企画となりました。

インタビュー・H一五・一／一四

けやき作業所にて

## 3月のこよみ

全体 (法人)

30日(日) 理事会

## 3月の休所日

- こぶし作業所
- けやき作業所
- けやきデイサービスセンター
- 第2けやき作業所
- セルフ・みらい

1日(土)・2日(日)  
8日(土)・9日(日)  
15日(土)・16日(日)  
21日(金)・22日(土)・23日(日)  
29日(土)・30日(日)

- サポートセンター

1日(土)・2日(日)  
8日(土)  
15日(土)・16日(日)  
21日(金)・23日(日)  
29日(土)・30日(日)



3 トピックス

マイチャレンジ推進事業

真岡西中学校二年生

セルフ・みらいで体験

私は、マイチャレンジで福祉関係の仕事がしたいと思いセルフ・みらいを希望しました。

始めは、利用者の方々とうまく接することができず不安でした。ですが、五日間の体験と一緒に箱折の作業をしたり、お昼を食べたりするうちに少しずつ打ち解けることができました。

初日は緊張していて作業もあまりできませんでした。また、雪が降ってしまい利用者の方々にも会うことができませんでした。二日目からは、利用者の方々にも会うことができ、だいたいの仕事のやり方がわかりました。私は、体験中に言われた言葉で、とてもよく覚えている言葉があります。それは、「黙って作業するのでなく、利用者の方と話し

ながらやるのも仕事なんだよ。」という言葉です。この言葉を聞いてその通りだなと思いました。職員の方はみなさん笑顔で利用者の方と接していたと思いました。

(柳 麻衣)

私は、職場体験でセルフ・みらいを選んだのは、セルフ・みらいが私の家の近くにあつて前からどんなところなんだろうって少し興味があつたのでセルフ・みらいを希望しました。初日は、とっても緊張して何をしたいかわからなかったけど、セルフ・みらいの職員の人たちが優しく教えてくれて一週間とても楽しく職場体験が出来ました。

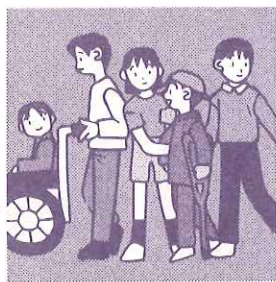
箱作りの方は、とても難しく、失敗もたくさんしちゃったけどすつ

ごく箱作り楽しかったです。

(篠崎由加)

マイチャレンジでセルフ・みらいにお世話になることになり、始めは、セルフ・みらいがどんなところか知りませんでした。あいさつに行つて初めてどんなところかわかりました。私は今までそういった経験が無く、興味がありました。初日は雪が降り利用者の人が来なくて残念でした。二日目からはたくさんの方がきてにぎやかで面白い人もたくさんいて毎日が楽しくて学校だと一日の時間が長いのにセルフ・みらいに行く一日がとても短くて、五日間があつたという間に過ぎてしまい残念でした。

(菅谷朱里)



マイチャレンジ推進事業とは

「心の教育」の一環として中学校2年生が連続5日間学校を離れ、地域の人々とのかわりを主とした社会体験活動を行います。

生徒の興味・関心に基づいて3～4人程度のグループをつくり、勤労生産活動、職場体験活動、福祉体験活動、ボランティア活動、文化・芸術創作活動、環境調査・国際交流活動などさまざまな社会体験活動にチャレンジします。



# 休日開所を 振り返って

県東ライフサポートセンターでは昨年七月より毎月第二日曜や長期休みの際に開所をしています。

「作業所が休みの日に行く場所が欲しい」「連休が続くと話す相手がなくて寂しい」「休みの日ってどう過ごしていいのか困っちゃう」「お盆や正月休み、ゴールデンウィークなどの長い休みに家以外の行き場がない」…などのメンバーさんからのご要望にお応えして毎週日曜の開所を目指しながら、昨年七月より毎月第二日曜日を開所することにしてから七ヶ月が経ちました。

開所時は、送迎サービスを行いセンターから家が遠いというメンバーさんにも来て頂けるようにし、休日ということもあってか普段より肩の力の抜けたようなメンバーさんとスタッフとで昼食のメニューを決め、

一緒に作って食べたり、地域のお祭りに遊びに行ったり、ビデオ鑑賞会をしたり、リラックスマームでゆったり和やかに過ごしたりしています。

一月からは第二日曜日の他に三日続く連休の時は、真ん中の日を開所することになり、一二月の三連休の真ん中の日(二三日)には、地域交流行事の日とクリスマス兼忘年会を開き、参加者皆で楽しみました。

また作業所等が長期休みの時は、お盆期間中に試験的にスタッフが交代で出勤し、八月一五日には八月行事のバーベキューをしてわいわい盛り上がりメンバーさんの好評?を得ることが出来ましたので今後も長期休

みの際に全日開所まではいかないまでも開所していくことにしました。さつそく年末年始は土日を含んだ九連休中に四日間開所し、来所して下さったメンバーさん達と年越しそばやお雑煮を食べ、初詣で行ったりと楽しい思い出を作ることが出来ました。

休日開所をやってきて実感しているのは、開所を待っていてくれるメンバーさん達のニーズの大きさです。ただいつものように開所するのではなく「プログラムのなものがあればいいな」「早朝から開所して欲しい」「毎週土日を開所して」等のせつかくの声に対しセンターとしてどう応えていくのか、七ヶ月間やってきたものの今後の課題になっています。

開所に関して、他の精神障害者地域生活支援センターの開所形態を例に挙げると、土・日は平常通りに開所し平日の中で休所日を設けていたり、日曜だけ休所したり、年中無休であったりと様々です。開所時間も

当センターは九時から一七時までとなっていますが、他の支援センターでは作業所が終わった後の夕方から夜にかけての居場所としての利用が多く、夕食サービスを含めて一九時や二時まで開所している所があったりと各地域の実情に合わせた活動を行っているようです。

他の支援センターを参考に芳賀郡の支援センターとして求められている役割と共に、休日開所をよりよいものにしていくようにメンバーさんの声を大切に一步一步進んでいきたいと思えます。



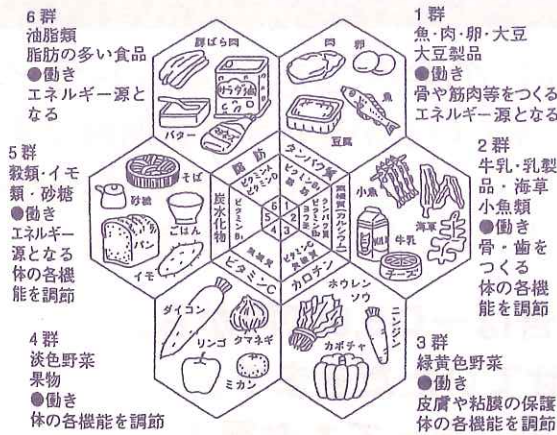


3 トピックス

# 食と仲間の健康



今回は、利用者の健康を「食」の観点から見ていきたいと思います。



私が献立を作成して一年八ヶ月の月日が経ちました。学校を卒業してすぐ栄養士としてやるべき仕事にとりかかり、最初は慌ただしい日々を送っていましたが現在、個人別嗜好調査を行ったり、給食だよりを作成したりと徐々にですが、私が以前から実施したかった目標が現実となっています。

私が、献立作成、又は調理をする際に考えることは、食べやすさ、健康に関することです。献立は、利用者の皆さんに合った荷重平均栄養基準を算出し、その基準に沿って作成しています。そのときに必ず「バランスよく」を踏まえて作成するように心がけています。

最近、健康に関するテレビ番組が放送され、食生活についての関心を持たれている方が数多くいることとありますが、私の考え方としては、それぞれの疾病についての食事の改善という知識も大切ですが、まずは、基本の食事を改善することが大切だと思います。そこで、厚生労働省より食品を六群に分類し、どんな食品をどのように組み合わせるかを示した表があります。これを参考に、ご家庭での食事に活かしてみたいかかでしょうか。

こぶし作業所 大澤



ブラジルコーヒー商会  
BRAZIL COFFEE CO

〒320-0021 宇都宮市東塙田1-13-2  
TEL 028-622-0661(代) / FAX 028-622-0939  
E-mail bcc@ucatv.ne.jp



大小宴会  
予約承ります!!

いざりカード  
加盟店

中華 宮本 宴会場 武蔵  
食堂

マイクロバス送迎あります。ご利用下さい。

芳賀町祖母井 TEL 028-677-1374 FAX 028-677-2381



・ 掲 示 板 ・

# こぶしだより 協賛広告 募集!!

こぶしだよりはあなたとこぶしの会をつなぐホットライン  
こぶしだよりは、社会福祉法人こぶしの会が発行する機関紙です。  
こぶし作業所、けやき作業所 セルプ・みらいで行う事業 福祉情勢、  
利用者のナマの声、家族の想いを「こぶしだより」で伝えます。

**こぶしだより協賛広告は一口5,000円から。  
名刺大で掲載させていただきます。  
年間掲載は42,000円 とってもお得!**

お問い合わせ

こぶし作業所	028(662)1911
けやき作業所	028(687)1040
セルプ・みらい	0285(81)1155
ライフサポートセンター	028(687)1311

発行所 郵便番号 一五〇〇七三

東京都世田谷区砧六―二六―二一  
特定非営利 助法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円

おいしい・・・  
セルフ・みらいの  
日替りお弁当 **1個 500円**

**大好評ご予約承り中!!**



お問い合わせ  
**セルフ・みらい**  
TEL 0285(81)1155  
FAX 0285(81)1177

## けやき作業所 にこにこパン屋さん

手づくり、焼きたての  
おいしいパンです。

例えば、あんパン100円  
**人気商品** ホテルブレッド440円

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。



**にこにこパン屋さん**  
TEL・FAX  
028(687)1788へどうぞ。